

鹿児島県感染症情報

2023年 第9週報 (2月27日~3月5日)

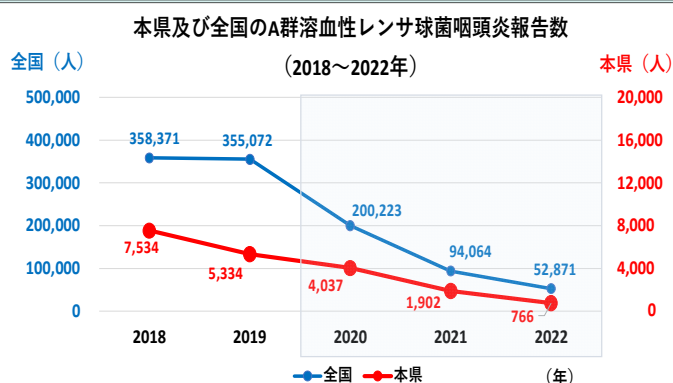
発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、3月5日時点での累積届出数が**438,963**例となりました。新型コロナウイルス感染症予防におけるマスク着用の考え方については、令和5年3月13日以降、**個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねること**になります。

3月13日から適用されますが、学校では4月1日以降、基本的にマスク着用を求めないこととしています。また、感染が大きく拡大している場合は、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけることもあり得るとしています。厚生労働省は感染防止としてのマスク着用が効果的である場面などを本紙2頁下段のポスターに示しています。

下図には2018~2022年における本県及び全国のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告数を示しました。2022年の報告数は2019年と比べると、本県及び全国ともに約七分の一へと激減しました。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くあります。

予防方法には、手洗い、マスクの着用、咳エチケットが有効なことから、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底に伴い減じたと思われませんが、例年、5~6月及び冬期に流行が認められることがありますので、今後の動向には注意が必要です。

第9週の定点報告疾患の報告状況を見ると、県内のインフルエンザの定点当たりの報告数は前週と比べると減少し、年齢別では10~14歳(113人)が最も多く、6歳(29人)、7歳、8歳(それぞれ25人)の順でした。また、感染性胃腸炎の定点当たりの報告数をみると、鹿屋は7週連続で流行発生警報域です。

☆一~五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核5例(肺結核3例, 結核性胸膜炎1例, 無症状病原体保有者1例) 追加結核1例(第6週)
三類感染症	発生報告なし
四類感染症	つつが虫病1例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例, 梅毒2例,
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症1,126例 (うち、みなし陽性者なし, コロナ・フォローアップセンターでの確定者76例を含む)

☆定点報告疾患の発生状況

- ・今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点**92**、小児科定点**54**です。
- ・第9週の定点把握対象疾患の総報告数は939人で、前週より58人少ない報告数でした(4頁参照)。
- ・**流行発生警報**の基準値(開始基準値及び終息基準値)以上の保健所
【感染性胃腸炎(開始20.0, 終息12.0)】：鹿屋(14.40)
- ・**流行発生注意報**の基準値以上の保健所
該当なし

※ 週報発行後、医療機関、保健所から追加、訂正報告があり、全数・定点の数値が変更する場合があります。

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第9週の感染性胃腸炎の報告数は475人で、前週より14人多く、定点当たりの報告数は8.80であった。

年齢別では、2歳（73人）、1歳（67人）、3歳（66人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（16.69）、鹿屋保健所（14.40）、指宿保健所（13.50）の順に多い。

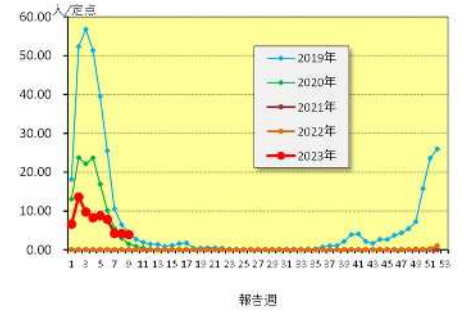


(2) インフルエンザ

第9週のインフルエンザの報告数は355人で、前週より32人少なく、定点当たりの報告数は3.86であった。

年齢別では、10～14歳（113人）、6歳（29人）、7歳、8歳（それぞれ25人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（8.22）、鹿屋保健所（4.63）、加世田保健所（3.67）の順に多い。



(3) RSウイルス感染症

第9週のRSウイルス感染症の報告数は50人で、前週より8人少なく、定点当たりの報告数は0.93であった。

年齢別では、2歳（14人）、0～5ヶ月（13人）、1歳（10人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、出水保健所（2.67）、川薩保健所（1.50）、鹿児島市保健所（1.46）の順に多い。



【マスク着用に関する情報】

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが
令和5年3月13日から
マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために
マスクを着用しましょう

受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時

通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために
マスク着用が効果的です

高齢者

慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

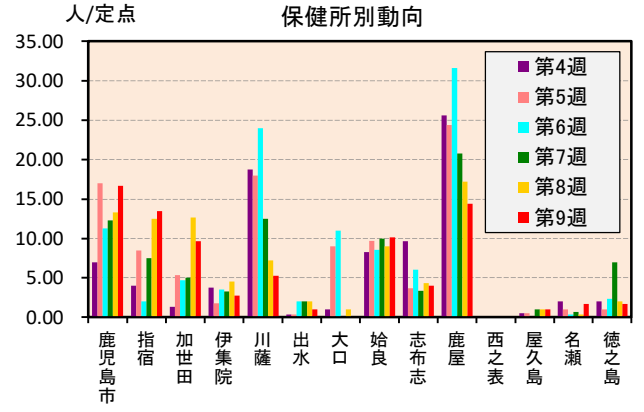
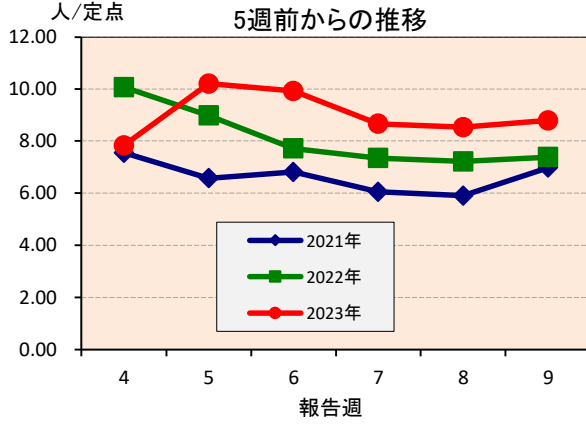
本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

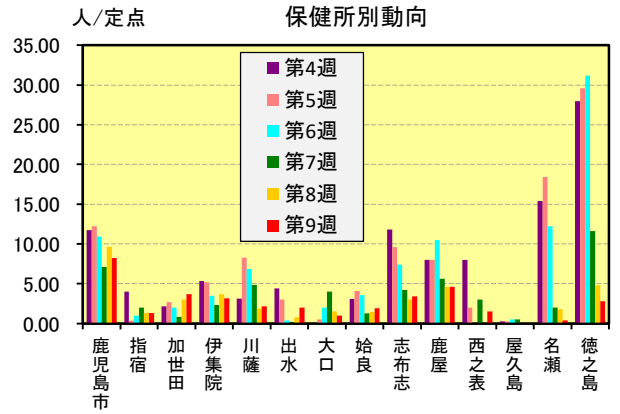
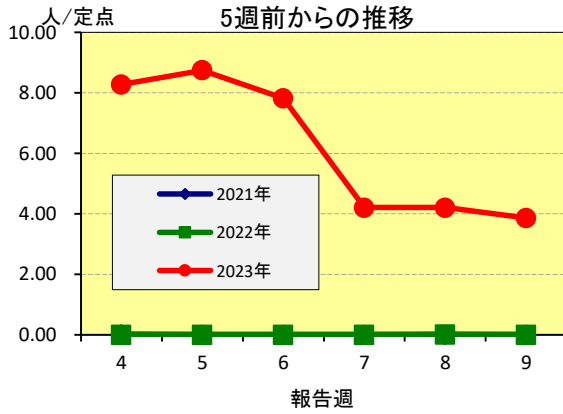
厚生労働省
作成：令和5年2月10日

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

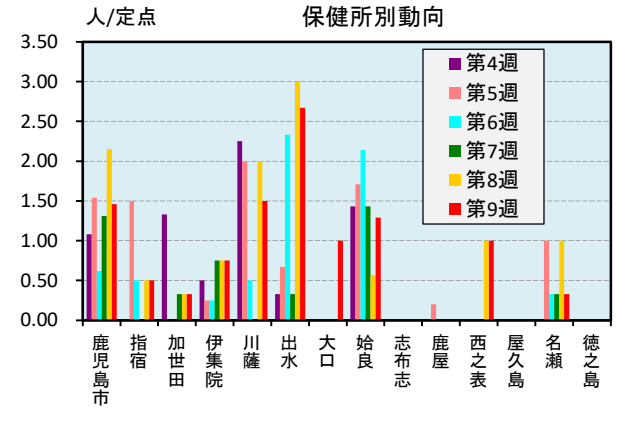
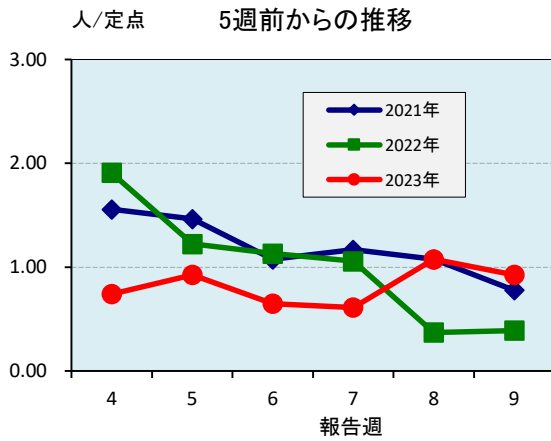
(1) 感染性胃腸炎



(2) インフルエンザ

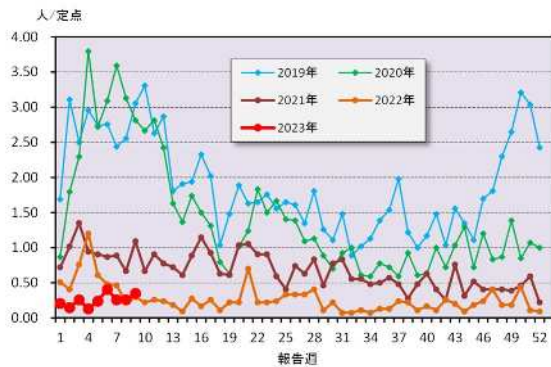


(3) RS ウイルス感染症

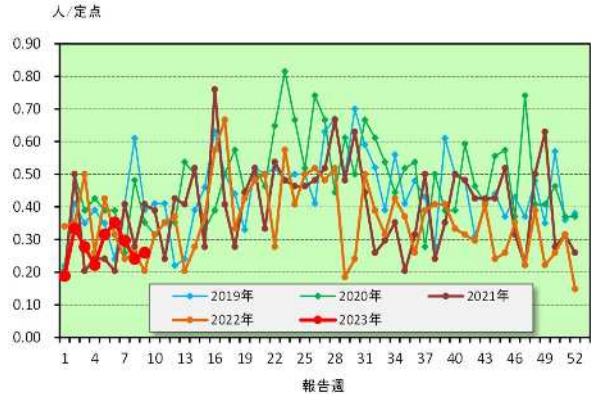


☆注目される感染症の発生状況

★ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (鹿児島県)



★ 突発性発しん (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2023年	(報告週)	第9週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2023年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	355	3.86	6,157
小児科定点	咽頭結膜熱	12	0.22	184
	○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	0.35	122
	○ 感染性胃腸炎	475	8.80	3,815
	水痘	1	0.02	31
	○ 手足口病	6	0.11	125
	伝染性紅斑	-	-	8
	○ 突発性発しん	14	0.26	134
	ヘルパンギーナ	4	0.07	71
	流行性耳下腺炎	2	0.04	21
眼科定点	RSウイルス感染症	50	0.93	332
	急性出血性結膜炎	-	-	2
基幹定点	流行性角結膜炎	1	0.14	21
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	-
	報告数合計	939	0	11,023

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前 (2023年4週)	4週前 (2023年5週)	3週前 (2023年6週)	2週前 (2023年7週)	1週前 (2023年8週)	今週 (2023年9週)
インフルエンザ	報告数	762	805	720	387	387	355
	定点当り	8.28	8.75	7.83	4.21	4.21	3.86
RSウイルス感染症	報告数	40	50	35	33	58	50
	定点当り	0.74	0.93	0.65	0.61	1.07	0.93
咽頭結膜熱	報告数	22	18	26	31	31	12
	定点当り	0.41	0.33	0.48	0.57	0.57	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	7	13	22	14	14	19
	定点当り	0.13	0.24	0.41	0.26	0.26	0.35
感染性胃腸炎	報告数	423	551	536	468	461	475
	定点当り	7.83	10.20	9.93	8.67	8.54	8.80
水痘	報告数	1	6	-	1	6	1
	定点当り	0.02	0.11	-	0.02	0.11	0.02
手足口病	報告数	30	12	15	9	4	6
	定点当り	0.56	0.22	0.28	0.17	0.07	0.11
伝染性紅斑	報告数	2	-	1	1	1	-
	定点当り	0.04	-	0.02	0.02	0.02	-
突発性発しん	報告数	12	17	19	16	13	14
	定点当り	0.22	0.31	0.35	0.30	0.24	0.26
ヘルパンギーナ	報告数	6	14	6	6	10	4
	定点当り	0.11	0.26	0.11	0.11	0.19	0.07
流行性耳下腺炎	報告数	1	4	-	3	4	2
	定点当り	0.02	0.07	-	0.06	0.07	0.04
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	2	-	-	-
	定点当り	-	-	0.29	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	2	2	1	3	8	1
	定点当り	0.29	0.29	0.14	0.43	1.14	0.14
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-

疾病別保健所別患者報告数及び定点当たり報告数(男女合計)

2023年09週(02月27日～03月05日)

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンカ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	355	3.86	50	0.93	12	0.22	19	0.35	475	8.80	1	0.02	6	0.11	0	0.00	14	0.26
鹿児島市	189	8.22	19	1.46	4	0.31	11	0.85	217	16.69	-	-	5	0.38	-	-	4	0.31
指宿	4	1.33	1	0.50	-	-	-	-	27	13.50	1	0.50	-	-	-	-	-	-
加世田	22	3.67	1	0.33	-	-	-	-	29	9.67	-	-	-	-	-	-	1	0.33
伊集院	19	3.17	3	0.75	2	0.50	3	0.75	11	2.75	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	15	2.14	6	1.50	1	0.25	-	-	21	5.25	-	-	-	-	-	-	5	1.25
出水	10	2.00	8	2.67	1	0.33	4	1.33	3	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	2	1.00	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	21	1.91	9	1.29	3	0.43	1	0.14	71	10.14	-	-	-	-	-	-	1	0.14
志布志	17	3.40	-	-	-	-	-	-	12	4.00	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	37	4.63	-	-	-	-	-	-	72	14.40	-	-	-	-	-	-	3	0.60
西之表	3	1.50	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-	1	0.50	-	-	-	-
名瀬	2	0.40	1	0.33	1	0.33	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	14	2.80	-	-	-	-	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎(真菌性を含む)		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	4	0.07	2	0.04	0	0.00	1	0.14	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
鹿児島市	3	0.23	2	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
指宿	1	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加世田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊集院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川薩	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
出水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良	-	-	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
志布志	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
西之表	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
屋久島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳之島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

